

## 題材名「学校のまわり」

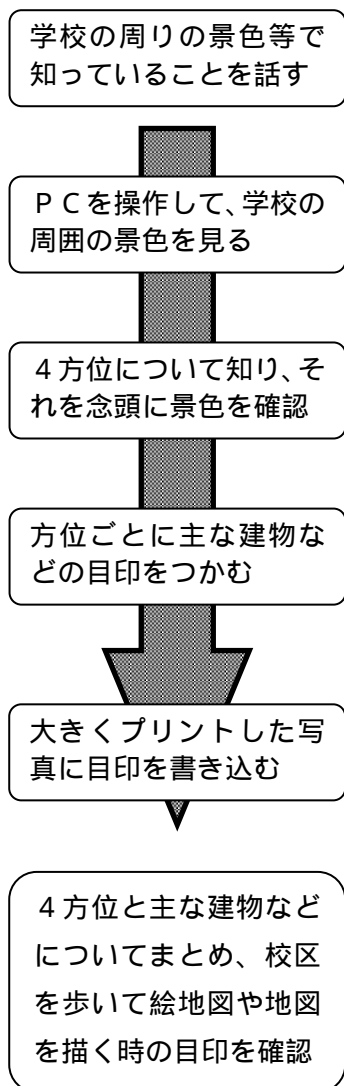
### 目 標

- ・ 高いところからながめて、学校の周りのようすを知る
- ・ 実際の景色と絵地図（地図）を関連づけ、東西南北の方向を理解する

### コンピュータを活用する利点

最近、校舎の造りや保安上の理由により、校舎屋上などの高い場所から校区のようすを見て調べることが困難な場合が多い。どの児童にも、安全かつ確実に学校の周りのようすを調べさせるには遠隔操作のテレビカメラ等でリアルタイムに見せることが有効であるが、それができない場合、本事例のように、予めデジタルカメラで撮影して合成した画像を大画面で見せることは、簡単かつ有効である。また、児童が、自由に見たい方向を決めることができることも利点としてあげられる。

### 授業の流れ



### ICT 活用場面

この単元においては、ICT活用場面が大きく2つ考えられる。ひとつは、学校の周りを観察する場面であり、もうひとつは、自分たちが通学したり生活したりしている地域を絵地図に表す場面である。ここでは前者を中心に報告しているが、絵地図作成の前段階において、児童がデジタルカメラで目標物や主な風景等を撮影し、それをもとに話し合わせ、絵地図化させることにも有効である。



### 成果と課題

S社製インタラクティブプレゼンシステムを使用して児童に大型液晶モニタで提示した結果、実際に4階あるいは屋上から景色を眺めるのと同様の臨場感で、児童が主体的に調べることに取り組んだ。また、弱視特別支援学級においても、児童がはっきりと見ることができたため、安全に、普通学級と同等の学習を保障することができた。

この教材を本校HP上に置き、家庭でも見るようにしたことによって保護者の協力も得られ、加えて、A3版横7枚程度にプリントアウトした写真を常時教室に掲示することによって方位の理解も進んだ。  
[http://www.takasago.ed.jp/~iho-s/infomation/wadai/map/school\\_area/](http://www.takasago.ed.jp/~iho-s/infomation/wadai/map/school_area/)

### ICT 活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、大型液晶モニタ（プロジェクタ投影で可）
使用ソフト名	Internet Explorer
使用教室	普通教室